

## 令和6年度「大分県女性のチャレンジ賞」受賞者紹介

受賞者	所在地・活動開始	活動内容
<p>【団体】  <b>NPO 法人</b>                      てとかんぱにー  <b>TetoCompany</b></p> <p>・理事長 奥 結香氏</p>	<p>竹田市                      平成 30 年</p>	<p>●人と人との繋がり、自然と助け合いが生まれるような地域を目指したいという思いから、平成 30 年に地域コミュニティの場として「みんなのいえカラフル」を開所。令和元年に法人化し、その翌年には児童発達支援事業放課後等デイサービス事業を開始。</p> <p>●ひとりぼっちのいない地域社会を創るをビジョンにインクルーシブな地域社会、差別や偏見のうまれにくい地域づくりを目指して活動しており、「みんなのいえカラフル」の年間利用者は延べ 4,500 人となるなど、赤ちゃんから高齢者まで、障がいの有無に関わらず地域の方が気軽に交流できる居場所として、竹田市にはなくてはならない場所となっている。</p> <p>●令和 5 年には、竹田市萩町にて多世代地域交流拠点「Haru+」を開所し、共生型デイサービスも運営。障がいや介護の公的サービスだけでなく、こども食堂、引きこもりや子育ての相談、大学生と子どもの交流イベントなど、幅広い活動を行い、地域全体の発展に貢献。</p>
<p>【団体】                      たけひめ  <b>竹姫</b></p> <p>・代表 安倍 美緒氏</p>	<p>竹田市                      平成 31 年</p>	<p>●竹田市で子育て中の母親が中心となり、「竹田がもっと好きになる」をコンセプトに、竹田市内の女性や子どもが活躍できる場所を提供し、たくさんの経験と楽しい思い出を作ってもらうことで自分たちのやりたいことや夢を叶えてほしいという思いで活動を開始。</p> <p>●女性が活躍できる場所をつくるため、手作り雑貨等を販売する竹姫マルシェの開催や、竹田市の特産品を使った竹田バーガーを地元の子どもたちと一緒に考え商品化するなど、地域に根ざした活動を行っている。</p> <p>●「コロナ禍で学校行事やイベントが中止になり、自宅待機で不安を抱える子どもたちのために」「子どもたちが竹田は世界一のまちだと故郷に誇りを持てるように」との想いを形にするため、流しそうめんのギネス世界記録に挑戦。メンバー集めや企業への協力に直接足を運び、地域全体へ協力を仰いだ。市内の子どもたちも作業に参加し、ボランティアは累計 1,000 名。見事 1 度目の挑戦で成功。</p>

## 令和 6 年度「大分県女性のチャレンジ賞」受賞者紹介

受賞者	所在地・活動開始	活動内容
<p>【個人】 とうみょう みちこ <b>東名 美智子</b> 氏</p> <p>・豊後高田市AFFネットワーク 会長</p>	<p>豊後高田市 平成 22 年</p>	<p>●旧高田地区農村女性集団連絡協議会に入り、事務局長となってからグリーンツーリズムにも参入。その後、平成 27 年に組織は豊後高田市農漁村女性集団連絡協議会となり、幹事を務める。また、同時期にグリーンツーリズムの推進委員なり市と連携して、グリーンツーリズムの発信に貢献。</p> <p>●令和 2 年には農漁村女性集団連絡協議会から豊後高田市 AFF ネットワークと組織名を改め、男性の参画も認めることとし、さらなる組織の拡大と活性化に努めている。</p> <p>●常温で出荷できる「豊後高田市万菜おせち」の開発など、地域の農産物を使った商品開発や販売において、中心的存在として活動。</p> <p>●子ども食堂や高齢者も対象としたふれあい食堂など、現在まで続いている大きな事業展開に中心的存在として尽力しており、豊後高田市の農林水産業の振興に寄与。</p>
<p>【個人】 にし ももえ <b>西 百恵</b>氏</p> <p>・安永醸造有限会社 代表取締役</p>	<p>国東市 平成 27 年</p>	<p>●安永醸造有限会社の4代目である父が亡くなったことを機に引き継ぐことを決心。</p> <p>●売上向上のため、販売ターゲットを自らと同年代の30代～40代に絞り、商品ラベルを変更。大手が参入しづらい雑貨屋を販路開拓し、瓶詰商品のパウチ化やサイズを小ぶりにし手軽な商品サイズへの変更を行うなど、雑貨屋に対応した商品への改良を行った。</p> <p>●商品に 5～10 分で作れる簡単なレシピとともに商品の使い方を説明した「使い方レシピ」をつける等、消費者目線での活動を行うことで、消費拡大を図り、結果として黒字経営に成功。</p> <p>●代々続く伝統を絶やさず、日本の食文化を継承するため、麴から味噌を作る方法を教える味噌づくり教室を地区公民館や小学校等で行っており、地域への貢献活動にも取り組んでいる。</p>